

専徳寺報

第493号

令和8年3月1日発行

浄土真宗本願寺派
専徳寺

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<https://sentokuji.net/>

岩国 専徳寺

検索

専徳寺納骨堂受付中

春季讚仏会法要

御案内

時は啓蟄。土や空気が潤い、草木が芽生え、すごもりしていた虫たちが動き出しました。
桃の花が笑顔で咲くこの時節、仏さまのお話を一緒に聴聞いたしましょう。

日程

3月13日(金) 昼1時半〜3時半
3月14日(土) 朝10時〜12時

講師

本願寺布教使

紫藤常昭 師(福岡)



●参拝セット(念珠・聖典・式章・聴聞カード)

どうぞお持ちください。

如來・人・言葉 143

WHAT IS LIFE

アメリカ初の全ページ写真入りニュース雑誌であり、世界31ヶ国での出版物『LIFE』(1936〜2000)が、戦後間もない創刊10周年の頃、「What is

LIFE?」(ライフとは何?)という問いの答えに懸賞を出しました。

LIFEには「生命、人間や生物、生涯、一生、寿命」などの様々な意味があります。

世界中からの応募作品の中から、第一位に選ばれたのは、アメリカのカリフォルニア州オークランドに住んでいた日本人で遠藤さんという方の作品でした。

遠藤さんは、LIFEという四つの文字をバラバラに分解して、「IF」と「LIE」という二つの語にしました。「LIFE」の4分の2は「IF」であり、4分3は「LIE」(嘘)です。

「IF」というのは、「もしかしたら」というはかない望みです。遠藤さんは「この人生というものは、半分は夢のようにはなく、また人生の4分の3、ほとんどは偽りにみちた世界である」と答えたのです。

後日、この遠藤さんのところへ新聞記者がやってきました。「あの素晴らしい回答のヒントはどうして得たのですか」と質問すると、遠藤さんは「そんなことは朝飯前」と答えました。

「私は日本の北陸で育ったのです。朝晩、親鸞聖人の『正信偈』をあげて、そして蓮如上人の『御文章』をいたたいて育ちました。まことに「まぼろしのごとくなる一期(一生)なり」、「されば朝には紅顔ありて、夕には白骨となる身なり」(朝には元気な顔であっても、夕べには白骨となつてしまうような身です)(御文章)ということ、よくよく聞いておつて、今でもそらんじています」と答えたそうです。

人生というのは夢まぼろしのような世界であるということ、身にしみて聞いて育っているのだから、そんなのは朝飯前だと言ったのです。

すると記者が、「わかりました。では『人生は偽りにみちている』というのはどういうことですか」と重ねて聞きました。



遠藤さんは、「これも『歎異抄』で「よろづのこと、みなもてそらごとたはごとと、まことあることなき」と聞いています」と答えたそうです。

キリスト教国のアメリカで、アメリカの知性と呼ばれるような人たちが集まって、選びに選んだ末に、『歎異抄』の言葉を「まこと真実だ。それが人生だ」と評価し、一等にしたのでした。

親鸞聖人は、

「煩惱具足の凡夫、火宅無常の世界は、よろづのこと、みなもつてそらごとたはごと、まことあることなきに、ただ念仏のみぞまことにしておはします」(わたしどもはあらゆる煩惱をそなえた凡夫であり、この世は燃えさかる家のようにたちまちに移り変わる世界であって、すべてはむなしくいつわりで、真実といえるものは何一つない。その中であって、ただ念仏だけが真実なのである)と述べられました。



同様に聖徳太子も「世間虚仮 唯仏是真」(世の中は虚仮であり、仏法のみ真実)と仰せになります。

世間的な立場からいえば、念仏こそいい加減なもの、言うならば「世間は真 唯仏虚仮」という感覚なのでしょうが、様々なご縁を通して、お念仏は阿弥陀仏のはたらきそのものと聞き知らされる時、この口から出る念仏こそ、最後まで私と共に歩み、私を支えてくださるもの、まことのより所(畢竟依)と気づかされるのです。

(おわり)

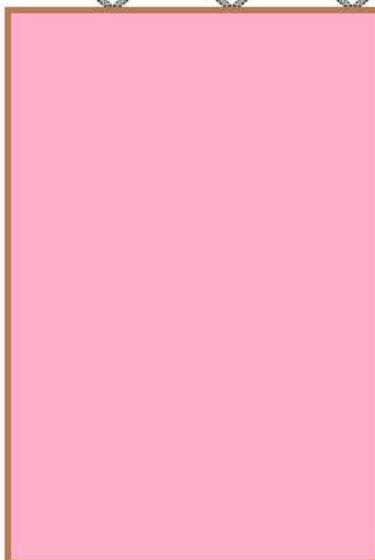
(霊山勝海和上『歎異抄の世界』より。住職編集)

ついでに礼拝(月初めはお寺参りから)

— 毎月一日・午前9時より45分間 —

寺内だより

●み仏にいだかれて〔葬儀勤修〕



●ご恩を偲び〔法事勤修〕 1 / 6 2 / 17



●お慶び申しあげます〔入仏式・遷仏式〕



お念仏薫る生活をどうぞ大切に

輝け！ 専徳寺の掲示板大賞

(二月部門)

「二月の掲示板」85の言葉の中から、報恩講の毎座、好きな言葉を選んで投票してもらいました。応募総数91通。結果は以下の通りとなりました。

【第一位】 14票

道を教えてくれる

人も尊いが

一緒に歩いてくれる

人の方が

なおさらいい

(昭和59年一月掲示)

【第二位】 (二首) 11票

わたしを つつむ

ナモアマミダフツ

天地を つつむ

ナモアマミダフツ

(昭和62年一月掲示)

その日

その日の

暮らしの中に

お念仏

(平成18年一月掲示)



また法座の最後に抽選会を行いました。次の方が選ばれました。

賀屋さとみ・白木 規晴
白木 康子・中崎 覚
三井 初美

